



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩見」としてお届けします。今回は写真家の森 日出夫さんに寄稿していただきました。

ウェブ版では  
抽選で  
読者プレゼント  
あり

さらに  
詳しい話は  
こちら



海から、空から、記憶を記録する

写真家 森 日出夫

生まれ育った横浜の街を撮り続けて半世紀が経ちます。海から、陸から、時には空からも撮影します。世の中の変化は早く、昔からあった建物がなくなっていたり、風景が変わるとそこがどんな形でどんな色だったか思い出せなくなってしまう。忘れ去られてしまう街や人の居た風景を残すのが私の日常です。好きな時間帯は明け方で、赤レンガ倉庫や大さん橋から見る港の朝焼けは光り輝いて美しく、希望を感じさせます。働く人やジョギングをしている人たちも朝日を浴びてドラマチックな絵になります。野毛や商店街も早朝に歩くとまた面白く、夜のザワザワとした喧噪がリセットされ、新しい一日が始まる予感を浴びながらシャッターを押すと昨日とは全く違う表情が写っています。



写真はヘリコプターで上空から撮影した長年気になっていた「扇島」の製鉄所です。許可を得るまで時間がかかりましたが、どうしても撮りたかった場所でした。失って初めて存在の大きさに気付くことがわかっていました。まさに休止される一步手前でした。第2高炉の火が消える瞬間まで記録することができました。稼働が止まる夜中の3時頃、働いていた人たちの目に涙が溢れていたあの瞬間が忘れられません。

◀扇島からみなとみらい21地区方向を望む(2023年撮影)

森 日出夫(もり ひでお)

写真家。1947年、横浜市生まれ。JPS(日本写真家協会)所属。長年撮り続けた横浜の港・街・人を「森の観測」と名付け、それらの作品を写真集や個展に多数発表。1996年、ニューヨークADC MERIT AWARD受賞。2001年、横浜文化賞奨励賞受賞。



問合せ 政策経営局広報課 ☎045-671-2331 ☎045-661-2351

スマートフォンでビデオ通話する119番通報

LIVE映像通信システム～映像119～を運用しています

「映像119」は、通報者のスマートフォンと消防司令センターをビデオ通話でつなぎ、傷病者や災害現場などの情報を映像で確認するシステムです。救急車が到着するまでの間も、適切な対処方法を動画等で配信し、有効な応急手当てを支援するなど、救命率の向上につなげます。

利用には事前登録等は不要です。119番通報を受けた指令管制員が、必要な場合に案内を行います。



詳しくはこちら

「あんしん救急」知って予防！救急車

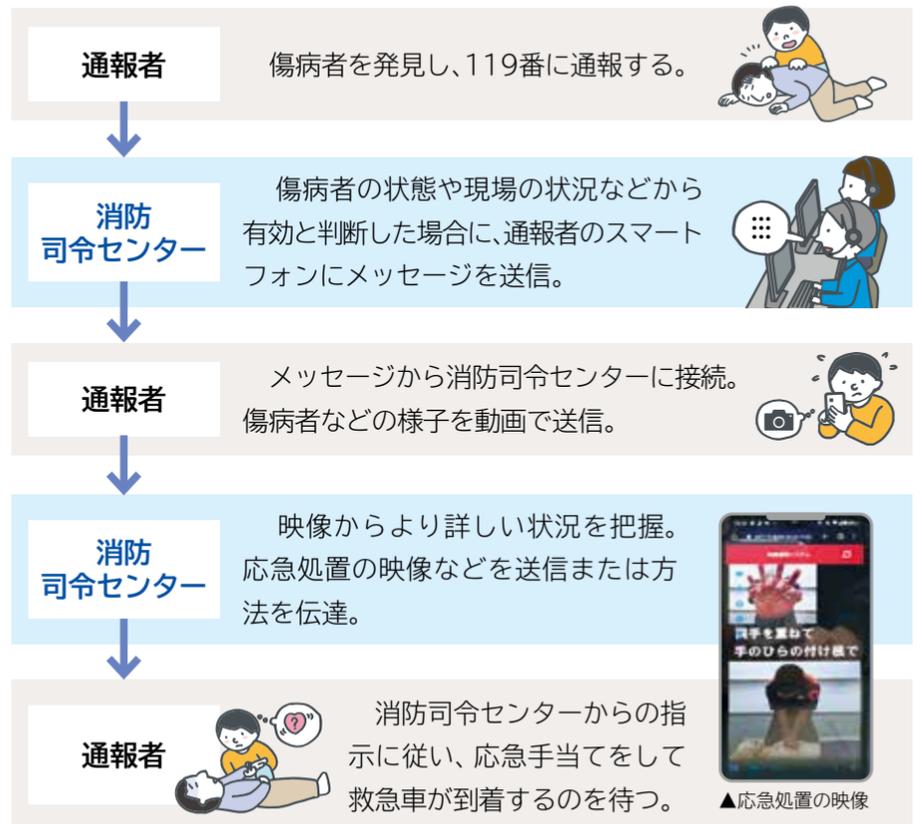
急な病気やケガを防ぐための日ごろの備えや、救急車を呼ぶか迷った時の相談先などをまとめたリーフレットを消防署などで配布しています。



詳しくはこちら



LIVE映像通信システムを使用する流れ ※通信料は通報者負担となります。



問合せ LIVE映像通信システムについて 消防局司令課 ☎045-334-6412 ☎045-334-6720  
「あんしん救急」について 消防局救急企画課 ☎045-334-6413 ☎045-334-6710